

市議会 だより

平成30年12月定例会報告

鶴ヶ島市議会



議員視察研修

平成30年11月6日、戸田市及び千葉県流山市への議員視察研修を実施しました。

本市の政策の参考とするべく、担当部局からの説明を受けた後、議員から具体的な内容に関する質問を行いました。

※ 4ページ下段にも本視察研修の記事を掲載
近藤議員は、別の公務のため欠席しております。

目次

12月定例会報告	2
委員会審査（請願）	3
委員会審査（条例等）	3
委員会審査（補正予算）	3
議会報告会2018(第2回)を開催	5
PTAと議員の懇談会を開催	6
市の考えを問う 一般質問	8

小・中学校の暑さ対策や
公共施設の維持管理経費などの補正予算を可決！



平成30年第4回鶴ヶ島市議会定例会が11月29日(木)から12月18日(火)までの20日間の会期で開催されました。

本定例会では、市長提出議案13件と請願1件を審議しました。

また、一般質問を3日間にわたり行い、15人の議員が登壇しました。

平成30年第4回定例会の日程（会期20日間）		
11/29	本会議	開会 諮問第1号及び議案第66号～第76号を上程
12/4	本会議	諮問第1号及び議案第66号を採決 議案第67号～第76号を委員会付託
6	総務産業建設常任委員会	付託議案審査
6	文教厚生常任委員会	付託議案審査
7	予算決算常任委員会	付託議案審査
13・14・17	本会議	一般質問
18	本会議	議案第67号～第76号及び請願第2号を採決 議案第77号を上程及び採決 閉会

平成30年第4回鶴ヶ島市議会定例会審議結果 ○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案等 番 号	議案等 の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ					大空・つるがしま未来			公明党		日本共産党		賛成	反対・賛成せず					
				小川 茂	金泉 婦貴子	持田 敏明	高橋 剣二	杉田 恭之	藤原 建志	出雲 敏太郎	内野 嘉広	大曾 根英明	近藤 英基	漆畑 和司	山中 基充			松尾 孝彦	五伝 木隆幸	太田 忠芳	高田 克彦	大野 洋子
諮 問 第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（新井 義忠氏）		可と決す	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第66号	教育委員会委員の任命について（萩原 秀雄氏）		同意に決す	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第67号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第68号	鶴ヶ島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	16	1
議 案 第69号	市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第70号	鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第71号	平成30年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第3号）について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第72号	平成30年度鶴ヶ島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第73号	平成30年度鶴ヶ島市介護保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第74号	公の施設の指定管理者の指定について（鶴ヶ島市立障害者生活介護施設）		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第75号	市道の路線の認定について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第76号	市道の路線の廃止について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 案 第77号	平成30年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第4号）について		原案可決	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
請 願 第2号	日米地位協定の抜本的改定を政府および国会に求める意見書提出に関する請願		不採択に決す	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	3	14

委員会審査

請願

請願1件が提出されました。

なお、今回も委員会審査における請願者の意見陳述の試行を行いました。

請願第2号 不採択

日米地位協定の抜本的改定を政府および国会に求める意見書提出に関する請願

【請願者】 鶴ヶ島市富士見

平和・民主・革新の日本をめざす
鶴ヶ島の会 代表 石塚雄康さん
外798人

【要旨】 日米地位協定は1960

年に締結されて以来、一度も改定されていないが、人権や環境問題等の意識が高まる中、時代にそぐわない不平等な協定内容となっている。米軍基地から発生する事件・事故等から国民の生命・財産と人権を守るため、政府、国会に対して、日米地位協定の抜本的改定を求める意見書を提出していただきたい。

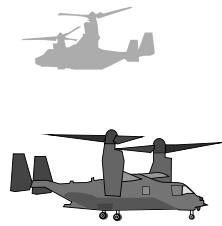
Q 日米地位協定が存在する根拠となる日米安全保障条約自体は認めるということでのよいのか。

A 紹介議員 日米安保条約を認める・認めないにかかわらず、今の地位協定による米軍の特権的

な内容の見直しを焦点としている。

Q アメリカ・ニューメキシコ州のキャノン空軍基地周辺では、C-122オスプレイの訓練が中止されているというが、展示飛行や訓練は行われている。誤った認識ではないか。

A 紹介議員 日本上空で低空飛行をしているのは事実であり、全部が違うというものではない。



条例等

議案第67号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

国家公務員及び埼玉県職員の給与改定に合わせ、一般職の職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定するものです。

議案第68号 鶴ヶ島市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

議会議員の期末手当について、職員の期末手当及び勤勉手当との均衡を図るため、支給割合を改定するものです。

Q 近隣市の改正状況は。

A 人事課長 西部11市の本市を除く10市中、8市が本市と同

じ4・4月分から4・45月分への改定であり、1市は年間の支給月数は異なるものの、0・05月分の増額で、あとの1市は据え置きと聞いている。

議案第69号 市長及び副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

市長、副市長及び教育委員会教育長の期末手当について、職員の期末手当及び勤勉手当との均衡を図るため、支給割合を改定するものです。

議案第70号 鶴ヶ島市手数料条例の一部を改正する条例について

建築基準法の一部改正に伴い、建築物の敷地と道路との関係に関する制限の適用除外に係る認定の申請に対する審査手数料の追加等をするものです。

議案第74号 公の施設の指定管理者の指定について

鶴ヶ島市立障害者生活介護施設「きいちご」の指定管理者の指定をするものです。

Q 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会が市の庁舎内にあるこの問題と賃料は。

A 健康福祉部長 社会福祉協議会と市が連携して地域福祉や社会福祉を増進させる目的もあり、市庁舎に入った。しかし、手狭になってきており、今後検討してい

く必要がある。なお、賃料は免除としている。



市立障害者生活介護施設「きいちご」

議案第76号 市道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定によるものです。

議案第76号 市道の路線の廃止について

道路法第10条第3項の規定において準用する同法第8条第2項の規定によるものです。



平成30年度の一般会計補正予算（第3号）、国民健康保険特別会計補正予算（第2号）及び介護保険特別会計補正予算（第2号）が可決されました。

一般会計(第3号)

行政システム管理事業

Q グループウェアでの職員間の情報共有内容と費用対効果は。

A 情報推進課長 メールの送受信や会議室などの予約、スケジュール管理や情報共有としての掲示板機能などである。試算では1ユーザ1当たり月額約555円となり、利便性と使用頻度から費用対効果は確保できている。

妊娠・出産・育児支援事業

Q 未熟児の出産に対応する病院は。

A 保健センター所長 高度な専門的医療を24時間体制で提供する全国の指定養育医療機関での治療となる。

Q 未熟児養育と鶴ヶ島版ネウボラとの関連は。

A 保健センター所長 ネウボラという仕組みを使いながら妊婦個々の状況を把握しており、早産などの予防と対応については、充実してきている。



小学校運営事業 中学校運営事業

Q 冷風送風機、熱中症指数計及び教室用カーテンは、市内全ての小・中学校に設置されるのか。

A 学校教育課長 全ての小・中学校への設置を考えている。
Q 冷暖風機の効果は。

A 学校教育課長 冷風を最大で12℃先に届かせることができるが、体育館全体の温度を下げることは難しい。活動の合間や休憩時間などに活用することで、児童・生徒の急激な体温上昇を抑える効果はあると考えている。

国民健康保険特別会計

地域でスクラム・健康マイレージ事業（国民健康保険分）に要する経費を補正するものです。

介護保険特別会計

地域密着型サービス整備等事業に要する経費等を補正するものです。

文教厚生常任委員会における所管事務調査

執行部説明員の出席を求め、鶴ヶ島市いじめ問題調査審議会からの教育委員会教育長への答申の提言に基づく教育委員会の取組の進捗状況等を調査しました。

いじめ防止への組織的な体制づくり、いじめの状況の変化などについて質疑し、説明を受けました。

平成31年第1回定例会会期中にも行う予定です。

鶴 議 第 191 号
平成30年12月18日

鶴ヶ島市長 齊 藤 芳 久 様

鶴ヶ島市議会議長 金 泉 婦 貴 子

市民の意見を踏まえた政策提言について

市民の負託にこたえ得る議会であるためには、多くの市民と意見の交換をし、議員同士の議論を活発に行い、論点や課題を明らかにして、多様な市民の意見を集約していく必要があります。

このため、最近の議会報告会では、市民との懇談を重視し、市民の声・要望を聴くとともに、市民との意見の交換を深めてきました。

今回、こうした市民との意見の交換から明らかになった課題を議会内で協議し、特に重要と思われる事項について、第6次鶴ヶ島市総合計画や各種施策への反映を図るため、鶴ヶ島市議会基本条例第2条第2号の規定に基づき、下記のとおり提言を行いますので、その対応を求めます。

記

1 子育て支援施策のPRとシティプロモーションについて

＜提言＞ 市内及び市外の子育て世代層へ向けて、インターネットやSNSを活用した子育て支援施策の周知を図るべきである。また、この施策を中心に、戦略的なシティプロモーションに取り組み、転入者の増加と転出者の抑制を図るべきである。

2 子どもの安心・安全の確保について

＜提言＞ 子どもたちの安全を確保し、子育て世代が安心して暮らせるよう、地域と連携した子どもの見守り活動、不審者情報の提供、防犯機器の活用、通学路の安全確保等について、更に重点的に取り組むべきである。

3 学校の統廃合について

＜提言＞ 早急に学校施設再編計画を策定し、市民への周知や合意形成を図り、学区拡大への配慮を行った上、計画を実行に移すべきである。

4 いじめ・不登校対策について

＜提言＞ いじめを絶対に許さないという強い信念の下、学校、教育委員会、市のみならず、保護者をはじめとした関係者が連携し、地域社会が一体となり、あらゆる手段を講じていじめを撲滅すべきである。

5 地域コミュニティの強化について

＜提言＞ 自治会の経理等の外部委託化などの自治会への支援策、自治会と地域支え合い協議会の役割分担など、自治会に対する支援のあり方を見直し、地域コミュニティの強化を図るべきである。

6 高齢者が活動しやすい環境整備について

＜提言＞ 市民の健康寿命を延ばし、高齢化に伴う財政負担を軽減するため、公園のトイレの整備、道路をはじめとした公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、つるバス・つるワゴンなどの公共交通の充実、高齢者の交流施設の確保などにより、高齢者の外出を支援すべきである。

※ 次回の提言文書中、市民意見に基づく現状と課題の文章については、紙面の制約から省略しました。全文は、市議会のホームページに掲載いたします。



～ 子育て世代を呼び込む シティセールスを研修 ～

30年11月6日、議員全員の視察研修として、戸田市及び千葉県流山市を訪問し、戸田市の「戸田市シティセールス戦略」と、流山市の子育て世代の定住・人口増に係るシティセールスを視察しました。戸田市は、戸田市政策研究所を設立し、ターゲットを絞った的確な情報発信と事業展開を行うことで、着実な人口増につながっています。

流山市では、マーケティング課を中心として、子育て世代の定住への流れの全ての段階に対応した施策を展開しています。

一般質問、政策提言等に生かしていきます。



流山市での研修

第13回マニフェスト大賞優秀コミュニケーション戦略賞を図書委員会が受賞!!

今や日本で最大規模の地方自治の政策コンテストとも言われるマニフェスト大賞。図書委員会委員長 山中 基充

市役所ロビーにもある「まちライブラリー」を議会図書室にも導入し、議会図書室を市民との交流の拠点にしようとするなど、議会図書室の改革に取り組んだ点が評価されました。

もっと身近な議会、もっと確かな議会を目指す本市



授賞式当日の様子

議会報告会2018

市民と議員の懇談会(第2回)

もっと身近な議会へ
もっと確かな議会へ

を開催



- 高齢になると、引きこもりや、近所との小さなトラブルがある。
- シティプロモーションに市はどう取り組んでいるか。

紙面の構成上、意見は一部を割愛しています。
ホームページも御覧ください。

参加者からの 主な意見

プロジェクトチーム
リーダー 高橋 剣二

平成30年10月27日、市役所を会場として今年度2回目の議会報告会―市民と議員の懇談会―を開催しました。
参加者が15人と少なかつたものの、活発な意見交換を行うことができました。
貴重な御意見を議会内で話し合つてまとめた上、しっかりと執行部に伝え、より良い市政運営に繋がるように努めさせていただきます。

- 今後のシティプロモーションは。
- 小・中学校などの修繕を。
- 空き教室で色々なことができないか。
- 小・中学校が統廃合されたら、空き教室等を障害者や高齢者の集まれる場所に。
- 小・中学校の耐震化の工事は、倒壊の心配はないのか。
- 公共施設の統廃合後の避難場所は。
- 特別支援学級に補助員を増やしてもいい、大変助かった。
- 特別支援学級の先生の研修は、障害児の学習環境の充実を。
- 不登校の原因は、学校が楽しくない、授業が学力中心なのではないか。
- 授業時間の増で、「いじめ」が増えたのではないか。

意見交換テーマ	地域の課題について シティプロモーションについて 公共施設について 小・中学校の教育について 高齢者福祉について 子育てについて
担当議員	山田 基太郎 出雲 敏和 漆畑 田敏 持田 敏明 藤原 建志

- 市内小学校のいじめ関連自殺問題はなくなったのか。うやむやにならないようにしっかり解決を。
- はつらつ元気体操などを市民センターで行っているが、会場が遠い。近くの自治会館などでやってもらいたい。
- 災害時、高齢者をどう助けるのか。
- つるバス・つるワゴンが減便されたのではないか。高齢化の中、バスの便を増やしてもらいたい。
- 高齢者福祉の財源は。
- 耳が不自由であるが、自治会に手話を出る人がいないので、なかなか意思が通じず、会費だけ払えばいいと言われた。自分達も自治会活動に加わりたい。

テーマ外

- 参加者が少ないが、住民の意識が低いわけではない。
- 利益中心のNPO法人が増えてきたので、質の確認を。
- 手話通訳の受講者が少なく、依頼が600件でスタッフが8人しかない。これをどう考えるか。様々な議会で手話言語条例を議論しているが、本市はどうか。
- 市の業務にAIやIOTなどの積極的な活用を。

会場でのアンケート意見 (一部の紹介)



会場全体の様子

- 盲、聾の人達に就労の場を。
- 本市の障害者の雇用率は。

議員の懇談会

を開催

もっと身近な議会へ
もっと確かな議会へ

平成30年9月29日、「鶴ヶ島市PTA連合会と議員の懇談会」を開催いたしました。

市民の意見を政策に反映するための議会改革の一環として、議会報告会を直接の対話を重視した懇談会形式に変更し、3年ほど行ってきました。しかし、参加者の年齢層が比較的高いことが多かったため、今回は対象を絞り、PTAの方々に声を掛けをしたものです。

子育て世代の方々への御意見を直接頂ける絶好の機会となり、大変有意義な懇談会となりました。

議会改革等
プロジェクトチーム
リーダー 高橋 剣二

当日は、小学校8校中7校の20人、中学校5校中3校の7人の参加がありました。

紙面の構成上、意見は一部を割愛しています。

グループ a 参加者からの 主な意見

テーマ
不審者に対する放課後の対応

テーマ
子どもの安心、安全の確保と防犯について

テーマ
大人による小学生、中学生の
少年少女女性犯罪の防犯について

テーマ
性犯罪にかかわらず、犯罪に巻き込まれないためにどうしたらいいか、どういうことをしているのか

○ 子どもが帰り道で不審者に声掛けされた。防犯ブザーは持たせているが、そうした事件があった場合には行政無線で放送すべきである。

○ ゾーン30エリア内での暴走車がある。取締りの強化や厳罰化の必要があるのではないか。

○ スクールゾーンに設置されているバリエードをどかして進入する車がある。取締り強化を。

○ 保護者による見守りは、共働きの多く難しい。集団下校も最後は1人になる。地域のシルバ1の方や防犯パトロールカーな

どで回ってもらいたい。

○ 下校時の放送は、学校行事で下校時間の変更しても変わらない。学校行事にも合わせるべき。

○ 夕焼け放送が午後5時30分では遅い。子どもは放送に合わせて帰るため、早めに放送すべきではないか。

○ 主要幹線道路には歩道を整備すべき。

○ 不審者の出没が多い。警察官の配置の必要もあるのでは。

○ データに基づく犯罪ハザードマップがあれば、対応しやすい。

○ 不審者情報をPTA連合会に情報提供してほしい。各学校のPTAにも伝えることができる。

テーマ
自転車の安全運転

テーマ
自転車のヘルメットについて

○ ヘルメットが普及していない。

○ 自転車の乗り方に問題がある。交通安全意識の醸成が必要。自転車の乗り方は、小学校低学年から教える必要がある。

○ 自転車のマナーは、まず家庭で指導すべき。その上で学校での指導である。

○ ヘルメットを学校で貸し出せないか。

テーマ
その他

○ 市役所通りの三ツ木と脚折の

大字境にある点滅式信号機を撤去しないでほしい。通学路でもあり、交通安全上必要である。

○ 松ヶ丘三丁目の川越西小学校周辺では、川越市の防災無線は聞こえても、本市の防災無線は聞こえない。早期対応をお願いしたい。



グループ a の様子

グループ b 参加者からの 主な意見

テーマ
鶴ヶ島独自の教育目標設定と学校運営について

テーマ
次期学習指導要領改訂に関する周知について

○ コマ数が増えると、行事が削られるのではないか。行事を楽しむに通っている子もいるので、土曜授業を復活してもよいのではないか。

○ 連合運動会の練習が7時間目では暗い。

○ 音楽会が無くなってきたことが残念。

○ 先生がやる必要のない仕事は、他の職員にやってもらいたい。

○ 次期学習指導要領により、親はどう関わるのか。体制や教材等はどう変わるのか。

○ 情報を出し、周知をしっかりと。

○ 三学期制になって、予期せぬことが起こった。シミュレーションをきっちり。

○ 学年行事をやりたいと要求したが、「ムリ」と言われた。

○ 学校協議会では教育の話をしてない。地域が主である。

テーマ
学校再編に関する現状と方向性について

○ 生徒が少ないと先生も少なくなる。ふれあいを多く持たせたい。規模が大きい方がよい。

○ 再編されても構わないが、登校の範囲を考えてほしい。

○ 徒歩で30分くらいは問題ない。

○ 南小・中学校は一貫校に指定されており、連携がよい。

○ 再編の進捗状況は。

○ 中間報告は出さないのか。

○ 三学期制から二学期制になった時には、大混乱した。十分な期間をとって周知を。

PTAと



意見交換 グループ	担当議員			
a	大野 洋子	内野 嘉広		
b	山中 基充	太田 忠芳		
c	持田 敏明	高橋 剣二		

担当外参加議員 金泉婦貴子 小川 茂

グループ
c

参加者からの
主な意見



グループbの様子

テーマ
PTA会費からの学校備品の購入について

- 学校から要望があり、子どもたちのために協議して購入した。
- 本来なら市費でやるべき。少子化でPTA会費が減っている。
- 「教育環境整備費」がPTA会計の項目になっている。
- 学校整備にいくら予算が出ているのか知りたい。

テーマ
自治会長への回覧板の回し方について

- 市役所経由だと回覧してくれるが、自治会に直接依頼しても受け取ってくれない。
- 学校協議会場でお願いすればよいのだろうが、スピード感がほしい。

テーマ
LGBTに関する教育現場での対応について

- なかなか表面化せず、特に小学生では理解ができない。
- LGBTが分からず、いじめのようなことが起きる。
- 修学旅行時の風呂や平時のトイレ等の対応は。
- 先生はどのくらい理解しているのか。
- 親も学校も、告白できる環境をつくってあげなければいけない。受け入れられやすい社会状況も。

テーマ
いじめについて(生徒対先生)

- 生徒対生徒であれば、問題化すれば早く対処できるが、生徒対先生は難しい。
- 部活動の顧問が熱心なので、いじめかパワハラかの判断が難しい。校長に相談しても熱心な先生にはなかなか言わない。
- 生徒も後のことを考え、親には「学校に言わないで」と言う。
- 部活の指導員は、子どもの個性を考えて指導してほしい。
- 学校は、どのような考えで部活指導員を決めているのか。指導員に対する指導をしてもらいたい。
- 女子対女子のいじめがある。目に見えるいじめはないが、陰で行われる。



グループcの様子

- 子ども同士の相性があるので、クラス替えの際に会議で保護者の相談を聞いてもらいたい。
- セクハラについて(行為の認定範囲、教員の認識、指導)
- 少しのことが先生の評判を悪くしてしまうことがある。

- 授業中に目が合ったり、言葉を掛けられたりしても、先生によつて「きもい」となるそう。人によつて、セクハラや激励になつてしまう。

テーマ
スマートフォン取扱について

- 夜9時以降のスマホの所持が禁止の市があるという。本市も導入できないか。
- スマホを持たせる親側の教育も必要である。

会場でのアンケート意見 (一部の紹介)

- ・ 市議会も前向きであることを知りました。
- ・ 子を持つ親の意見や疑問の発信のためには、今回のような形は良いと思います。
- ・ 学校の設備の見直し、老朽化に対する対策。教員教育の強化。生徒のメンタル指導強化。保護者に対する指導・教育の強化。発達障害に対する対策。いじめ撲滅に対する対策案の明確化。
- ・ 子供たちを保護するヘルメット着用条例や補助金の制定を。情報、報告等は、少しでも早くいただきたい。
- ・ 意見を市の政策として実行していただきたいと思う。
- ・ 学校の設備・美観についても十分な配慮をお願いしたい。
- ・ ゲームやネットについて、親が制限するのが難しい。
- ・ 特別支援学級の家庭も念頭に置いて、学校再編の計画を立ててほしい。
- ・ 加配の必要な子達は市立へと言われるので、鶴ヶ島東部保育所の閉鎖は困る。
- ・ 子どものいじめやスマホに関し、親側のモラルが改善されるような事業があると良い。
- ・ 我々の意見を代弁してほしい。

Q

高すぎる国保税は 引下げを

お お た た だ よ し
太田 忠芳 議員



A

基本的には医療費分を賄う ために税率の引上げを行う

問 いわゆる協会けんぽ等の被用者保険にはない均等割が、低所得世帯の負担なのではないか。

答 所得に応じて7割、5割、2割の軽減を行っており、所得の無い方は、均等割分の7割軽減で、8100円程度の年税額となる。低所得者に対する軽減制度は、充実していると思われる。

問 本市の国民健康保険税は高すぎるのではないか。

答 保険給付費に応じた保険税率を設定する仕組みであり、保険税率は、応能部分と応益部分に分配して設定されるため、各市町村で相違がある。県内40市対象の調査によると、本市の保険税額は、40歳夫婦と子ども2人の4人家族のケースでは高い方から31番目、65歳以上夫婦の2人家族では30番目、65歳以上単身世帯では38番目と比較的低い結果である。

問 国庫支出金が減らされ続けてきたのが国保税引上げの要因である。県単位化後も各自自治体にあった施策をとるべきではないか。

答 高齢化に伴って医療費が増大する中、県単位の広域化によって財政の安定化を図ることになった。赤字補填の法定外繰入れを無くし、標準税率に近づけていくこととなるが、基本的には医療費分を賄うために税率の引上げを行う。

問 株式会社IHIの事業展開について。

答 民間航空エンジン事業の拡大のため、農業大学校跡地の北側産業用地を取得し、アジアを代表する最先端の民間航空エンジン事業の拠点となるスマート工場を段階的に建設していく。2019年内の稼働を目指すとのことである。

問 緑地保全エリア及び多目的運動場について。

答 埼玉県は、公園緑地設計業務委託を発注し、緑地における樹木健全度調査や貴重な植物を工事範囲から緑地に移植する作業を行っている。今後、県と市で公園緑地の整備計画案を作成し、地元住民環境団体、スポーツ団体等と意見交換をしながら計画を固めていく。

問 都市計画道路及び下水道工事の進捗状況について。

答 都市計画道路は、川越鶴ヶ島線の一部及び鶴ヶ島南通り線の詳細設計を行っており、来年度から工事に着手したい。下水道工事は、太田ヶ谷地区の関越自動車道付近から学校給食センター前までの汚水管渠築造工事が1月25日までに完了する予定である。

◎その他の質問

一 市の魅力を発信する観点からの脚折雨乞行事について

二 鶴ヶ島市の農業政策について

市の考えを問う 一般質問

12月13日・14日・17日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



Q

圏央鶴ヶ島IC東側 区画整理と周辺整備

うちの
内野 嘉広 議員



A

県と市がそれぞれの役割に応じ て進める

Q

市役所食堂のありようについて

すぎた
杉田やすゆき
恭之 議員

A

市民の利用や職員の福利厚生の一環として開設

問 食堂事業者の選定の経緯は。

答 経営基盤、官公庁や民間会社の食堂受託状況、メニューや価格等を比較検討し、提案内容や実績が最も優れた事業者を選定した。

問 事業者との賃貸料、水光熱費、設備の使用等の契約内容は。

答 行政財産の使用許可により、4月1日から翌年3月末までを使用期間とし、毎年更新している。

施設の使用料、電気及び水道料金は、開設目的の一つを福利厚生の一環としたことから免除している。

ガス料金は、事業者自らが契約し、費用を負担している。

問 年間の利用者数は。

答 各課への弁当の配達を含め、平成28年は2万1415食、29年は2万4292食で、1日当たり約90食が販売されている。



市役所庁舎6階の食堂

Q

学校開放事業の充実について

おがわ
小川しげる
茂 議員

A

施設の適切な維持管理と地域の実情に合った事業に努める

問 職員の福利厚生での見解は。

答 事前の注文で弁当が配達され、手短に食事がとれる。定食メニューにはカロリーが表示され、健康維持や健康増進を意識でき、職員の福利厚生の一環になっている。

問 今後における食堂のありようについての見解は。

答 開設から28年が経過し、機器設備ともに老朽化が進んでいる。設備等の状態、市民や職員のニーズを勘案し、多角的に検討すべき時期を迎えている。

問 小・中学校の体育施設の開放状況は。

答 小学校では全校の体育館及び校庭を、中学校では全校の体育館並びに鶴ヶ島中学校、藤中学校及び西中学校のテニスコートを開放している。また、中学校の校庭は、サッカー協会及び野球連盟の大会に開放している。

問 学校開放運営経費について。

答 ゴールネット、コートブラシ、モップ、塩化カルシウムなどの消耗品費やグラウンド用砂等の原材料費の予算を計上している。各使用団体や学校からの要望と破損や劣化状況を確認し、執行している。

問 AED（自動体外式除細動器）の設置状況は。

答 全ての小・中学校に各1台を設置している。迅速・的確に使用できるよう、学校ごとに検討の上、保健室や事務室、職員室などに置いている。学校開放体育施設使用団体には、年間調整会議等で設置場所の周知徹底を図っている。

問 体育館照明のLED化は。

答 毎年度切れた照明灯の交換を行い、照明器具本体の故障の場合は、部分的にLEDに変更してきた。藤中学校は、埼玉県の補助金を活用し、LED化した。今後、計画的なLED化に向けた調査研究を進めていく。





つるバス・つるワゴン



市内公共交通の充実は

もちだ としあき
持田 敏明 議員



利便性の高い公共交通の充実を 図っていく

問 市内公共交通のより利用しやすい運行について。

答 平成29年度の全体の利用者数は、運行開始の23年度に比べて1・7倍以上である。今後も利用者の増加が見込まれるため、ルート

の見直し等を図りながら、多くの人に利用してもらえよう努める。

問 コンパクトシティの利点は。

答 県内で市域が5番目にコンパクトで、路線を長く設定する必要がない。このため、定額の運賃を設定できるほか、比較的短時間で目的地に行けるダイヤを組めるなど、利用者の利便性を高めやすい。

問 増車の時期について。

答 23年度と29年度を比べ、つるバスに限っての利用者数は約2・1倍である。朝と夕方は満車になるが、終日では余裕がある。

運行事業者の態勢整備や市の財政的負担の増加もあるため、乗車率、つるワゴンの定員を超えた場合の続行便、ルート等の状況を考慮して慎重に判断する必要がある。

問 補償金について。

答 協定により、各運行事業者の収支に損失が生じた場合に損失額の補償を行っている。

問 高齢者や免許返納者への対応について。

答 費用面を含め、効果的なサービスについて総合的に検討したい。



結果を出すための 市政について

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



安定した市政運営を進める

問 市長は、現在策定中の第6次総合計画では、リーディングプロジェクトは設けず、全ての施策を一生懸命頑張るといふものにするとの考えのようだが。

答 リーディングプロジェクトを設けるか否かは、今後検討する。

問 第5次総合計画では、課題と

それに対する目標設定が一致していないものがあつた。目標設定についての認識は。

答 議員として第5次総合計画の策定に携わった当時は、10年の計画期間内に簡単に目標が達成できてしまうような総合計画ではダメであり、簡単にはできないような

ことを目標にし、そこに向かっていくのが重要で、目標の半分でも達成していればよいと考えていた。総合計画の何%程度が目標に達すればよいのかどうかについては、議員の皆さんと一緒に考えていきたい。

問 人口減少問題に対して、結果を出すための施策のあり方は。

答 自治体間で目先の人口獲得競争を繰り返しても、東京への人口一極集中の流れや日本全体の人口減少傾向は変わらない。市としては、安定した市民サービスの提供と効果的なシティプロモーションを組み合わせていく必要があると考えている。



市役所庁舎



Q RPA導入で 業務の改善を

やまなめ
山中 基充 議員



A 市の実情を踏まえ導入を 検討していきたい

問 RPAは、ロボットによる業務自動化と訳され、人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアにより自動化するものである。手作業でしかできないと考えられていた市の業務に適用でき、職員の労働時間削減や人為的ミスの防止といった効果が期待できる。思考を伴わない単純業務を軽減し、住民サービスの質的向上を図

るために導入すべきで、既存システム自体を変えることなくシナリオを作成して効果的な所から導入でき、県内初の導入とのイメージアップも期待できるが。

答 本市の実情を踏まえ、他のICT活用も並行しつつ、その導入を検討していきたいと考えている。本市の場合、住民記録などのシステムの多くは、いわゆるパッケ

ージシステムであり、システム間のデータ連携の仕組みも多数構築できている。RPAの効果が見込めるかどうかを見極めることが重要である。職員数が減少しても、多様化する行政需要に応え、真に必要な住民サービスを提供できるように、業務改善に取り組んでいく。

◎その他の質問

一 保育園や幼稚園にまだ通わない子どもの支援について

二 地域未来投資促進法の活用への市の支援について

Q 公園の潜在力を 引き出すために

おおの ひろこ
大野 洋子 議員



A 先進事例を研究し、取り組める ものから取り組みたい

問 市民と公園を回り課題箇所を担当窓口に伝えた。特に自動販売機の配線は危険な状態である。

答 公園利用者に支障を来すことがあれば、早急に対応していく。

問 公園の維持管理は、防災・安全へと果たす役割が変わっている。防災の視点で、身近な都市公園をどう使いこなすのか。

答 地域の防災訓練等の使用については、柔軟にお受けする。

問 幼児が遊べる公園が少ない。特色ある公園づくりの検討は。

答 現状、低年齢児の利用に特化した公園にする考えはないが、子育て世代がいつでも遊べる場所をつくっていく必要性は感じている。



問 市民の力を借りて公園を維持管理するマネジメントの検討は。

答 公園サポーター制度があるが、住民参加を広げていく手法・仕組みづくりをしっかりと検討する時期に来ていると考えている。

問 公園に子育てセンターや市民センターを併設するなど、にぎわいを創出するための公園機能を生かせる再編の考えはあるのか。

答 公園内の活用と集客、また、パークPFIについても、本市に合うのかどうかを見極めて検討する必要がある。

◎その他の質問 ごみ焼却からのエネルギー生産について



健康増進法の改正への 対応について

まつお たかひこ
松尾 孝彦 議員



受動喫煙の健康影響についての 周知、啓発に努める

問 受動喫煙対策の現状と課題について。

答 各種イベントや講演会などのパネル展示やリーフレットの配布、広報などを通じ、禁煙、受動喫煙の健康影響について周知、啓発を行ってきた。

今後も引き続き、国や県の動きを注視しながら、様々な媒体を活用した周知に努めていく。

課題としては、市役所をはじめ、市民センターなど、敷地内で喫煙が可能な公共施設において、受動喫煙への対策を講じる必要があることである。

問 民間の受動喫煙対策への今後の支援について。

答 費用負担などの課題も多いことから、国では、予算、税制上の措置が行われ、今後、その詳細が

示される予定となっている。

現在、市としての財政支援などの考えはないが、今後、国や県の動向を注視していきたいと考えている。

◎**その他の質問** スマート自治体に向けての将来像



トッパススリート 育成について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



A スポーツ活動に取り組みやすい 環境の整備に努める

問 支援体制の確立について。

答 市民のスポーツの技術力向上や取組への意識を高めてもらうため、市やNPO法人鶴ヶ島市体育協会では、スポーツ講習会やステップアップ講習会を開催している。また、関東大会や全国大会に出場する子どもたちには、市から遠征

費の一部を補助し、体育協会からは激励費を交付している。全国大会で活躍した子どもたちには、市からは鶴の里奨励賞、体育協会からは体育賞として表彰し、広くPRしている。

問 活動環境の充実について。
答 市では、新体育館整備構想に

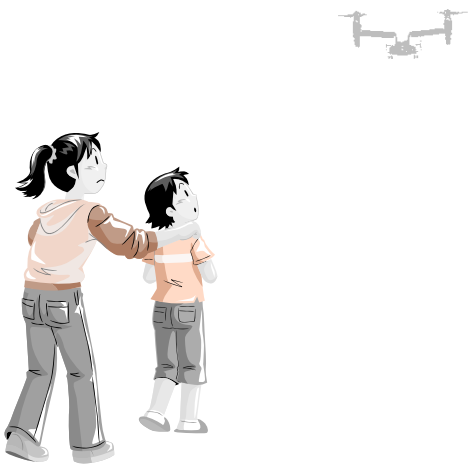


係る調査業務を進めており、現在、体育協会をはじめ、スポーツ少年団、スポーツ推進委員等にヒアリングを実施している。今後は、調査業務の成果を踏まえ、子どもたちがスポーツ活動に取り組みやすい環境の整備に努めていく。

問 鶴ヶ島市立中学校の部活動の方針について。

答 国や埼玉県ガイドライン等を踏まえ、本年8月に鶴ヶ島市立中学校の部活動方針を策定した。

部活動指導員及び部活動外部指導者の配置、部活動顧問等の指導知識や実技指導及び技術の質の向上を図るための研修会への参加を促し、各学校の支援をしていく。

**Q**

オスプレイを鶴ヶ島
上空に飛ばさないで

高田 たかだ
克彦 かつひこ
議員

**A**

安全性の確保について、**国を**
通じて要望していきたい

問 市民からのオスプレイ飛来目撃情報を市は確認しているか。

答 10月12日、本市上空を2機飛んでいるとの情報が1件あった。

問 飛行ルートを外れての飛来は危険である。装備品の落下の危険性を含めて関係機関に理由を質し、飛行禁止を申し入れるべきでは。

答 本市上空は、横田基地の在日アメリカ空軍が航空交通管制をし

ている空域であると認識している。

オスプレイが本市上空を訓練等で飛行する可能性も考えられる。

安全対策については、本市が加入する埼玉県基地対策協議会から防衛省及び外務省等関係機関に要望書を提出し、国を通じてアメリカ合衆国に申入れを行っている。

問 自衛隊機の騒音はひどいもの

があるが、市民からの苦情や学校の授業への影響はないか。

答 市民からの苦情は年間数件程度あるが、学校からは授業に影響があるとの話は聞いていない。

騒音対策についても、基地対策協議会から防衛省に対して要望を提出し、対策を求めている。

◎その他の質問

一 虐待、いじめ、不登校を少しでも少なくするために

二 平成31年度以降の市の財政見通しを問う

Q

市の防災体制を強化するため

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員

**A**

作成中の新たなハザードマップに風水害を入れない

問 最大規模の降雨時、高麗川の決壊により、羽折町の一部で浸水の可能性が想定されている。水害ハザードマップの作成は。

答 現在、新たに作成中のハザードマップに当該風水害の被害想定を盛り込みたい。

問 公共施設の統廃合後の避難所や避難場所はどうなるのか。

答 現在、学校を中心に避難所の指定をし、周知もしている。今後は、施設の統廃合に連動しながら、避難所について検討していきたい。

問 通学路沿いの倒壊の危険性があるブロック塀の実態調査は。

答 公共施設は調査し、倒壊のおそれがあるものはなかったが、通



避難所運営訓練

学路の全ては把握できていない。今後、目視で危険箇所があれば、確認に努めたい。

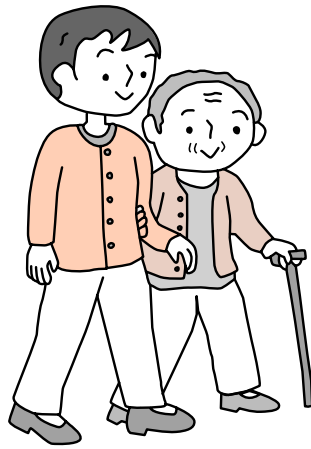
問 災害時のデマやパニックへの対策は。

答 市のホームページやツイッターも活用し、正確な情報を迅速に発信していきたい。

問 要配慮者の防災対策は。

答 関係部署と連携しながら要支援者に対する避難行動計画などの協議を進め、要支援者名簿の活用方法や市内の社会福祉施設との連携など、防災対策に努める。

◎その他の質問 子育て支援の充実について



Q

鶴ヶ島市の認知症対策は

たかはし けんじ
高橋 剣二 議員



A

地域で支える環境づくりを推進していく

- 問** 認知症の患者数について。
- 答** 全体数の把握は困難であるが、要介護認定等の主治医意見書の内容から認知症の疑いがあると診断された方は、平成30年9月末時点で1378人である。
- 問** 認知症サポーターの人数と活動状況について。
- 答** 30年11月末現在で3207人を養成した。広く市民の見守りや声掛けをしていただいている。
- 問** 警察等の関係機関との連携は。
- 答** 徘徊や虐待、事故などに関する連携のほか、鶴ヶ島市見守りネットワークにも多くの関係機関が登録され、通報実績や対応事例等の情報共有を行っている。
- 問** 認知症の相談件数や中身は。
- 答** 地域包括支援センターに寄せられた認知症に関する相談は、29

- 年度実績で419件であり、物忘れや家庭内外における問題行動に関するものが多い。
- 問** 認知症対策の改善課題は。
- 答** 認知症サポーターの活動の場が少ないことと、今後の専門職による成年後見人の不足である。
- 問** 認知症対策の今後は。
- 答** 予防に関する取組が重要である。認知症サポーターの更なる養成と新たな活動の場を確保し、市民後見人の養成も続ける。地域で支える環境づくりを推進していく。



Q

公共工事の発注・施工時期の平準化

こでんぎたかゆき
五伝木隆幸 議員



A 発注者の責務として、平準化に努める

- 問** 本市が発注した公共工事の年間平均の稼働件数と第1四半期の平均稼働件数の傾向は。
- 答** 30年度は、11月末現在で40件を発注し、年間の平均稼働件数は19・0件、第1四半期の平均稼働件数は9・7件である。年間の平均稼働件数に対して第1四半期の
- 平均稼働件数が少ない傾向にある。
- 問** 公共工事の入札が不調、不落となったケースは。
- 答** 30年度は、市民センターの給水設備工事で1件と道路改築工事で3件が不調となった。
- 問** 県内における公共工事の発注・施工時期の平準化の取組は。

- 答** 債務負担行為の設定や契約年度に支出のないゼロ債務負担行為を活用している事例がある。また、発注する前年度に設計・積算を行う積算の前倒しなどの事例もある。
- 問** 本市における公共工事の発注・施工時期の平準化に対する取組状況と今後の方針は。
- 答** 本定例会の補正予算案として計上した庁舎冷温水発生機更新工事は、ゼロ債務負担行為を活用し、施工時期の平準化を図る。積算の前倒し等も行っており、今後も公共工事発注者の責務として、発注時期、施工時期の平準化に努める。
- ◎その他の質問 地方公会計情報の活用について



平成30年に開催した議会の
状況を報告します

議会開催状況

会議	会期 (日)	本会議 日数 (日)	委員会日数 (日)				傍聴 者数 (人)
			総産	文教	予決	農大	
第1回定例会	27	6	1	1	3	0	73
第2回定例会	18	6	1	1	1	0	70
第3回定例会	24	6	1	1	3	0	89
第4回定例会	20	6	1	1	1	0	99
合 計	89	24	4	4	8	0	331
定例会会期外	0	0	0	0	0	0	0

※総産…総務産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
予決…予算決算常任委員会 農大…農業大学校跡地等整備の調査に関する特別委員会

議員提出付議事件 (件)

区分	議決態様別					
	可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	計
条例	0	0	0	0	0	0
規則	0	0	0	0	0	0
意見書	1	0	0	0	0	1
決議	0	0	0	0	0	0
その他	10	2	0	0	0	12
計	11	2	0	0	0	13

市長提出付議事件 (件)

付議事件別		議決態様別			
区分		可決	否決	継続審議	計
自治法第96条 付議事件	条例	33	0	0	33
	予算	21	0	0	21
	決算	6	0	0	6
	その他	14	0	0	14
自治法第179条(専決処分)		4	0	0	4
計		78	0	0	78

※「可決」には、認定、同意、承認等の議決を含みます。

Q

交通安全対策の
充実について

藤原 ふじわら

建志 けんし
議員



A

市民と一体となり、交通事故ゼロ
を目指し、全力で取り組む

問 路面標示の整備について。

答 自治会やPTA等の要望箇所の整備と、生活道路で劣化が著しい路面標示の更新を予定。安心・安全な交通環境の整備を進める。

問 スクールガードの現状は。

答 スクールガードリーダーを中心に、学校応援団等の協力により、

登下校時の見守りをしている。学

校によっては、人数が足りず、新

たな協力者の募集に努めている。

問 シルバー・サポーター制度の

申請状況と特典について。

答 平成29年は、221人が運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書を取得した。県内の協賛事業

所は、30年11月現在で28業種・2

38事業所が登録されており、特

典には、スーパーなどの割引制

度、タクシー代金の割引等がある。

問 自転車用ヘルメット購入のた

めの補助金について。

答 他市町村の状況や保護者の意見も参考にし、ヘルメット着用の推奨に向けた取組を進めていく。

問 点滅信号機の終了への対応は。

答 西入間警察署から関係自治会に対し、一灯式信号機の撤去も含めたお知らせをしたが、住民からの強い存続要望があるため、慎重に対応していくと聞いている。

◎その他の質問 実用英語技能検

定試験に対する補助について



先進事例の視察・研修

大空・つるがしま
未来
住みよさランキング福
島県内10年連続1位に
おける本宮市の取組

平成30年10月11日に福島県本宮市を視察しました。

本宮市では移住・定住を促進する取組として、マイホーム取得奨励金等の金銭的援助をしており、当市においても参考になると思われました。

「子育て環境の整備では、本宮市は子どもの遊び場所が充実していました。一方、当市は、特に未就学児の遊べる場所が少なく、規模も小さいように思われます。

「子育てするなら鶴ヶ島」のキャッチフレーズ実現のためには、この点を解消するため、ハード面の整備が必要であると思われました。

野子
大
洋
議員の学校に参加
して

30年8月8日・9日の2日間、

NPO法人多摩住民自治研究所主催の議員の学校「小さな市民の生命と権利をまもる憲法と子どもの権利条約からのプログラム」に参加しました。

「子どもの権利条約」の批准から25年。年々増える虐待、いじめ、自殺から、私たち大人は、日本の子どもたちの自由が、世界一狭められていることを突き付けられています。

そして、重大な事案が起きている当市においては、子どもの人権や権利を改めて問い直すことが求められています。

子どもたちの「最善の利益」を最優先に考慮するためには、まず子どもたちの声に耳を傾けなければなりません。

都立多摩図書館セミナールームにて



本宮市役所庁舎前にて

次回定例会のお知らせ

次回の平成31年第1回定例会は、2月22日(金)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階などの議会情報コーナーで御案内します。

ホームページはこちらから

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/dir000016.html>



鶴ヶ島市議会

検索

贈らない 求めない 受け取らない

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内で寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。御注意を！

禁止されている寄附の例

- ・祭りへの寄附や差し入れ
- ・運動会やスポーツ大会への飲食物等の差し入れ
- ・自治会等の集会や旅行等の催し物への寄附や飲食物の差し入れ
- ・冠婚葬祭における贈答 など

交通事故防止運動街頭指導に参加！

30年12月3日、冬の交通事故防止運動における街頭指導がワカバウォークで実施され、鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加しました。

夕暮れから夜間の交通事故防止等について声掛けをしながら、交通事故防止の啓発品とチラシの配布を行いました。

明るい色の服装と

反射材の活用

夕暮れから夜間は、歩行者が思うよりも車から歩行者の姿は見えません。

外出する際には、明るい色の



服装を心掛け、反射材を活用しましょう。

編集後記

3月議会は、来年度の予算の審議が重要な議題となります。ぜひ議場にお越しください。

(大)

(議会報編集委員)

委員長 大野 洋子
副委員長 太田 忠芳
委員 松尾 孝彦
委員 出雲 敏太郎
委員 内野 嘉広
委員 小川 茂
委員 持田 敏
委員 高橋 剣二